



Fiery Driver Configurator

© 2022 Electronics For Imaging, Inc. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2022年7月7日

目次

Fiery Driver Configurator	5
システム要件	5
Fiery Driver Configurator アプリケーション	6
Fiery Driver Configurator をインストール	6
Windows および Mac クライアントコンピューター用のカスタム Fiery Drivers の作成	7
Windows 用のカスタム Fiery Drivers の作成	7
カスタムプリンタードライバの再カスタマイズ	8
macOS 用のカスタム Fiery ドライバの作成	9
カスタムプリンタードライバのインストール	11
カスタムプリンタードライバのローカルインストール	11
カスタムプリンタードライバのポイントアンドプリントインストール	11
Fiery Driver のアンインストール	13
Fiery Printer Delete Utility	13
Windows をアンインストールする Fiery Driver	13
macOS Fiery Driver のアンインストール	14
コマンドライン命令によるプリンタードライバの削除	15
Windows プリンタードライバのアンインストール	15
macOS プリンタードライバのアンインストール	15
カスタムプリンタードライバの作成における制限	18

Fiery Driver Configurator

Fiery Driver Configurator は、Windows クライアントコンピューター用のカスタム Fiery PS Drivers を管理者が作成できる、Windows のスタンドアロンアプリケーションです。

Windows 用 Fiery Driver Configurator から設定ファイルの保存を行った後、対になる macOS Fiery Driver Configurator を使用することで、macOS の印刷ドライバーパッケージを作成できます。

Fiery Driver Configurator は、たとえば社内のある特定のグループや事業部のニーズを満たすための、基本的に簡素化されたプリンタードライバーを作成します。

システム管理者は、機能の表示/非表示やロック/ロック解除を指定でき、印刷オプションのデフォルト設定を行うこともできます。

Windows 用のカスタマイズされた Fiery Driver を作成する場合は、同様にカスタマイズされた macOS 用の Fiery Driver も作成できます。

システム要件

Fiery Driver Configurator には、オペレーティングシステムと Fiery Driver のサポートに関する最低限の要件があります。

次のオペレーティングシステムに Fiery Driver Configurator をインストールできます。

- Windows 11
- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 8
- Windows 7
- Windows Server 2008
- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Windows Server 2022
- Mac OS X v10.7 以降

Fiery Driver v4.8 およびそれ以降がサポートされています。

サポートされている Fiery Driver Configurator と互換性のある Fiery PS Drivers の一覧については、[EFI プリンタードライバー](#)を参照してください。

Fiery Driver Configurator アプリケーション

Fiery Driver Configurator アプリケーションは、Windows および Mac クライアントコンピューターにインストールできます。

Fiery Driver Configurator をインストール

ローカルに Fiery Driver Configurator をインストールして、Windows または Mac クライアントコンピューターでカスタム Fiery Drivers を作成できます。

Fiery Driver Configurator は EFI サポート Web サイトからダウンロードできます。

- 1 サポートおよびダウンロードにアクセスします。
- 2 Fiery 製品セクションで、Fiery Driver およびユーティリティをクリックします。
- 3 システムソフトウェアのアップデートとドキュメントをダウンロードする前に、ユーザー情報を登録する必要があります。ユーザー情報を入力し、送信をクリックして送信します。
- 4 ダウンロードセンターでアプリケーションソフトウェアおよびツールタブをクリックします。
- 5 ソフトウェアの選択リストから Fiery Driver を選択し、バージョンの選択リストから Fiery Driver Configurator を選択して、検索をクリックします。
- 6 サポートされているオペレーティングシステム (Windows または Mac) のダウンロードをクリックします。
- 7 承認するをクリックし、使用許諾条件に同意します。
- 8 ダウンロードした.exe (Windows) または.dmg (Mac) ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

Windows および Mac クライアントコンピューター用のカスタム Fiery Drivers の作成

Fiery Driver Configurator を使用すると、Windows および Mac クライアントコンピューター用のカスタム Fiery Drivers を作成できます。

Windows 用のカスタム Fiery Drivers の作成

Windows クライアントコンピューター用のカスタム Fiery Drivers を作成できます。

- 1 スタート > すべてのプログラム > Fiery > Fiery Driver Configurator を開き、Fiery Driver Configurator をクリックしてアプリケーションを開きます。
- 2 参照をクリックし、Fiery Driver インストーラーが格納されているフォルダーを開きます。続行するには oemsetup.inf ファイルを選択します。
- 3 ネットワーク上の Fiery server に接続するには、さらにより結果を得るため Fiery Server に接続チェックボックスをクリックし、接続をクリックして Fiery server を指定します（可能な場合）。
Fiery server に接続すると、プリンターにインストール済みのカスタマイズ可能なオプション（フィニッシャーやオプションパッケージなど）と、双方向通信が必要な機能が Fiery Driver Configurator に表示されます。Fiery server に接続しない場合は、項目のカスタマイズはできません。
- 4 編集をクリックしてプリンタードライバーをカスタマイズします。
ジョブのプロパティウィンドウが表示されます。使用可能なプリンタードライバーオプションが表示されます。また、項目やタブのロックやロック解除、表示や非表示を行うアイコンも表示されます。
メモ：カスタムプリンタードライバーがシンプルになるよう、使用しないオプションは非表示にすることを推奨します。
- 5 次の手順に従い、タブや印刷オプションのカスタマイズ、デフォルトの設定を行います。
 - タブを選択し、タブをロックまたはタブを隠すをクリックします。
 - タブをロックすると、プリンタードライバー上に表示されますが、ユーザーによる変更はできなくなります。
 - タブを隠すと、プリンタードライバー上に表示されなくなります。

- タブの各印刷オプションや印刷オプションカテゴリでは、印刷オプションの隣のアイコンをクリックしてロック/ロック解除と隠す/表示するを選択できます。また、デフォルト設定を選択することもできます。
- 印刷オプションをロックすると、プリンタードライバー上でユーザーによる変更はできなくなります。印刷オプションを隠すと、プリンタードライバー上に表示されなくなります。
- デフォルト設定を指定してロックすると、設定を常に有効にしてユーザーが変更できないようにすることができます。
- 設定が完了したら、OK をクリックします。
リセットをクリックするとドライバーのタブ、印刷オプション、設定が初期状態に戻ります。

メモ：クイックアクセstabはカスタマイズできないことから、タブをロックやタブを隠すのボタンもありません。

- 6 Fiery Driver パッケージを保存する場所を指定します。
- 7 Mac ドライバーのカスタマイズファイルを保存してくださいチェックボックスを選択すると、Mac クライアントコンピューター用の Fiery Driver をカスタマイズするための.xml ファイルが作成されます。
- 8 保存をクリックすると、Windows 用のカスタム Fiery Driver が保存され、エクスポートされます。
カスタム Windows プリンタードライバーは、`setup.exe` を実行してインストールできます。また、Windows サーバーから共有プリンタードライバーとして設定することもできます。クライアントコンピューターは、ポイントアンドプリントで Windows ベースのサーバーに接続できます。

カスタムプリンタードライバーの再カスタマイズ

Fiery Driver Configurator では、以前にカスタマイズしたプリンタードライバーのカスタマイズを行うことができます。

メモ：カスタマイズできるのは、以前にカスタマイズした Windows プリンタードライバーのみです。

- 1 スタート > すべてのプログラム > Fiery > Fiery Driver Configurator を開き、Fiery Driver Configurator をクリックしてアプリケーションを開きます。
- 2 参照をクリックし、以前に Fiery Driver Configurator でカスタマイズした Fiery Driver が格納されているフォルダーを開きます。続行するには `oemsetup.inf` ファイルを選択します。
- 3 ネットワーク上の Fiery server に接続するには、さらにより結果を得るため Fiery Server に接続チェックボックスをクリックし、接続をクリックして Fiery server を指定します（可能な場合）。
Fiery server に接続すると、プリンターにインストール済みのカスタマイズ可能なオプション（フィニッシャーやオプションパッケージなど）と、双方向通信が必要な機能が Fiery Driver Configurator に表示されます。Fiery server に接続しない場合は、項目のカスタマイズはできません。
- 4 編集をクリックして、以前にカスタマイズしたプリンタードライバーをカスタマイズします。
ジョブのプロパティダイアログボックスが表示されます。以前にカスタマイズしたすべての設定は、表示したり、新しいカスタマイズ要件に従って変更したりすることができます。使用可能なプリンタードライバーオプションが表示されます。また、項目やタブのロックやロック解除、表示や非表示を行うアイコンも表示されます。

- 5 以下の手順に従い、タブや印刷オプションのカスタマイズ、デフォルトの設定を行います。
 - タブを選択し、タブをロックまたはタブを隠すをクリックします。
 - タブをロックすると、プリンタードライバー上に表示されますが、ユーザーによる変更はできなくなります。
 - タブを隠すと、プリンタードライバー上に表示されなくなります。
 - タブの各印刷オプションや印刷オプションカテゴリでは、印刷オプションの隣のアイコンをクリックしてロック/ロック解除と隠す/表示するを選択できます。また、デフォルト設定を選択することもできます。
 - 印刷オプションをロックすると、プリンタードライバー上でユーザーによる変更はできなくなります。印刷オプションを隠すと、プリンタードライバー上に表示されなくなります。
 - デフォルト設定を指定してロックすると、設定を常に有効にしてユーザーが変更できないようにすることができます。
 - 設定が完了したら、OK をクリックします。
リセットをクリックするとドライバーのタブ、印刷オプション、設定が初期状態に戻ります。
- 6 Fiery Driver パッケージを保存する場所を指定します。
- 7 Mac ドライバーのカスタマイズファイルを保存してくださいチェックボックスを選択すると、Mac クライアントコンピューター用の Fiery Driver をカスタマイズするための.xml ファイルが作成されます。
- 8 再カスタマイズしたプリンタードライバーを新しく保存する場所を指定します。
新しい場所を指定すると、元のカスタムプリンタードライバーを残したまま、新しいカスタムプリンタードライバーを別のファイルとして保存できます。
- 9 保存をクリックすると、Windows 用のカスタム Fiery Driver が保存され、エクスポートされます。
カスタムプリンタードライバーは、`setup.exe` を実行してインストールできます。また、Windows サーバーから共有プリンタードライバーとして設定することもできます。クライアントコンピューターは、ポイントアンドプリントで Windows ベースのサーバーに接続できます。

macOS 用のカスタム Fiery ドライバーの作成

Mac クライアントコンピューター用のカスタム Fiery Drivers を作成できます。

- 1 アプリケーション > Fiery > Fiery Driver Configurator フォルダーを開き、Fiery Driver Configurator アイコンをダブルクリックします。
- 2 参照をクリックし、Windows で Mac クライアントコンピューター用に Fiery Driver Configurator から作成した設定.xml ファイルの場所を指定します。
- 3 macOS プリンタードライバー用のカスタマイズを行うために、Fiery Printer Driver.pkg の場所を指定します。
Fiery Printer Driver.pkg のデフォルトの場所は、手順 2 (9 ページ) の.xml ファイルの場所です。Fiery Printer Driver.pkg がこのフォルダーにない場合、フォルダーの場所を指定する必要があります。
Fiery Printer Driver.pkg のデフォルトの場所はデスクトップです。

- 4 新しいカスタムプリンタードライバーを保存する場所を指定します。
デフォルトの場所はデスクトップですが、他のフォルダーを選択することもできます。
- 5 設定をクリックすると、macOS 用カスタム Fiery Driver が保存され、エクスポートされます。
選択したフォルダーに Fiery Printer Driver_N.pkg が保存されます。複数の Fiery Printer Driver パッケージがコンピューターで使用できる場合、「N」はその番号です。
カスタムプリンタードライバーは、macOS 用の他の Fiery Driver と同じようにインストールできます。

カスタムプリンタードライバーのインストール

作成したカスタムプリンタードライバーは、クライアントコンピューターにローカルまたは SMB 印刷でインストールすることができます。

カスタムプリンタードライバーのローカルインストール

作成したカスタムプリンタードライバーは、クライアントコンピューターにローカルでインストールすることができます。

Windows Fiery Drivers : Print Drivers_N がある場所へ移動します。複数の Fiery Driver インストーラーがコンピューターで使用できる場合、N はその番号です。<Product name>\Print Drivers\Ps_drvr フォルダの setup.exe をダブルクリックしてカスタム Fiery Drivers をインストールします。「Product name」は Fiery server です。

メモ : コントロールパネルのデバイスとプリンターにある Windows のプリンターの追加ウィザードは使用しないでください。

Mac OS Fiery Drivers : Fiery Printer Driver_N.pkg がある場所へ移動します。複数の Fiery Driver パッケージがコンピューターで使用できる場合、N はその番号です。パッケージをダブルクリックし、画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールします。

カスタムプリンタードライバーのポイントアンドプリントインストール

SMB 印刷 (Windows 印刷、WINS 印刷) では、ポイントアンドプリントを使用して、Windows クライアントコンピューターにカスタム PostScript プリンタードライバーをインストールできます。

ポイントアンドプリントを使用してカスタムプリンタードライバーをインストールして 32 および 64 ビットプラットフォーム間で共有する場合、プリントキューが共有される Fiery server またはシステムで、最初にオペレーティングシステム/プラットフォーム固有ではない「非ネイティブの」ドライバーをインストールした後、オペレーティングシステム/プラットフォーム固有の「ネイティブの」ドライバーをインストールする必要があります。

たとえば、プリントキューの共有用に 64 ビットの Fiery server を設定する場合、管理者は最初に 32 ビットの (非ネイティブの) ドライバーをインストールした後、64 ビットの (ネイティブの) ドライバーをインストールする必要があります。

Windows 64 ビットコンピューターでカスタムプリンタードライバをインストールするときは、次の点を念頭に置いてください。

- Windows Server 2012 R2 64 ビットコンピューターまたは Windows 8.1 64 ビットコンピューターで共有を設定する場合は、プリントサーバーのプロパティから 32 ビットドライバを Windows コンピューターにインストールした後、カスタマイズされたドライバパッケージの `setup.exe` を使用して 64 ビットドライバをインストールします。
- Windows 8.1 32 ビットコンピューターで共有を設定する場合は、プリントサーバーのプロパティから 64 ビットドライバをインストールした後、カスタマイズされたドライバパッケージの `setup.exe` を使用して 32 ビットドライバをインストールします。
- Windows 7 64 ビットコンピューターで共有を設定する場合は、Windows XP 32 ビットコンピューターからプリントサーバーのプロパティにアクセスして 32 ビットドライバをインストールした後、Windows 7 64 ビットコンピューターで `setup.exe` を使用して 64 ビットドライバを直接インストールします。
- Windows 7 32 ビットコンピューターで共有を設定する場合は、Windows XP 64 ビットコンピューターからプリントサーバーのプロパティにアクセスして 64 ビットドライバをインストールした後、Windows 7 32 ビットコンピューターで `setup.exe` を使用して 32 ビットドライバを直接インストールします。

Fiery Driver のアンインストール

Fiery Driver はクライアントコンピューターからアンインストールできます。

アンインストールユーティリティは、クライアントコンピューターにインストールしてローカルで使用できます。ソフトウェアを使用する前に Fiery Driver に接続する必要はありません。

オペレーティングシステムに応じて、次の方法で Fiery Driver をアンインストールできます。

- Windows クライアントコンピューターからの Fiery Printer Delete Utility。
- Mac クライアントコンピューターからの Fiery Printer Delete Utility。

Fiery Printer Delete Utility

Fiery Printer Delete Utility をインストールして、Fiery Drivers の Windows クライアントコンピューターからのローカルでのアンインストールに使用できます。ソフトウェアを使用する前に Fiery server に接続する必要はありません。

Printer Delete Utility は、プリンタードライバーを削除するために Windows クライアントコンピューターにインストールする必要があります。

Fiery Printer Delete Utility は EFI サポート Web サイトからダウンロードできます。

- 1 サポートおよびダウンロードにアクセスします。
- 2 Fiery 製品セクションで、Fiery Driver およびユーティリティをクリックします。
- 3 システムソフトウェアのアップデートとドキュメントをダウンロードする前に、ユーザー情報を登録する必要があります。ユーザー情報を入力し、送信をクリックして送信します。
- 4 ダウンロードセンターでアプリケーションソフトウェアおよびツールタブをクリックします。
- 5 ソフトウェアの選択リストから Fiery Driver を選択し、バージョンの選択リストから Fiery Printer Delete Utility を選択して、検索をクリックします。
- 6 検索結果から FieryPrinterDeleteUtility.zip を探して、ダウンロードをクリックします。
- 7 承認するをクリックし、使用許諾条件に同意します。
- 8 FieryPrinterDeleteUtility.exe をダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。

Windows をアンインストールする Fiery Driver

Windows Fiery Driver は、Fiery Printer Delete Utility と共にアンインストールすることができます。

- 1 クリック **起動** > **すべてのプログラム** > **Fiery** > **Printer Delete ユーティリティ**。
Printer Delete ユーティリティウィンドウが開き、コンピューター内で見つかったすべての Fiery Drivers を一覧表示します。
- 2 次のいずれかを行います。
 - プリンターを削除するには、プリンター名の横にあるチェックボックスを選択し、**選択したプリンターの削除**をクリックします。
 - インストールされているすべてのプリンタードライバーを削除するには、**すべてのプリンタードライバーの削除**チェックボックスを選択し、**承諾**をクリックします。
- 3 プリンタードライバーの削除後、**終了**をクリックします。

macOS Fiery Driver のアンインストール

macOS Fiery Driver は、Fiery Software Uninstaller ユーティリティでアンインストールできます。

Fiery Software Uninstaller ユーティリティは、Mac クライアントコンピューターにインストールされています。

- 1 アプリケーションフォルダーを開き、Fiery Software Uninstaller アイコンをダブルクリックします。
- 2 まだ選択していない場合は、**プリンタータブ**を選択します。
- 3 **インストール済みプリンター一覧**からプリンターを選択します。
- 4 次のいずれかを行います。
 - **プリンターおよびドライバー除去**をクリックして、プリンターとそのプリンタードライバーファイルを削除します。
プリンターおよび関連付けられているプリンタードライバーファイルを削除する場合は、一度に1つのプリンターのみ選択できます。
 - **インストール済みプリンター一覧**からプリンターを削除するには、**プリンター除去**をクリックします。
プリンタードライバーファイルは削除されません。
現在使用されていないプリンター、または Dock（画面下、または横にあるアイコンバー）で開かれていないプリンターのみ削除できます。
メモ：複数のプリンターで同じプリンタードライバーファイルを使用している場合、プリンタードライバーファイルを削除すると、そのプリンタードライバーを使用しているプリンターもすべて削除されます。
- 5 プリンターを削除するには、表示されるダイアログボックスに **Mac OS** コンピューターのパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
- 6 **ドライバータブ**をクリックして、インストールされているプリンタードライバーを確認します。
- 7 Fiery Software Uninstaller ダイアログボックスを閉じます。

コマンドライン命令によるプリンタードライバーの削除

コマンドライン機能を使用して、Windows および macOS でプリンターおよび対応するプリンタードライバーを削除できます。

Windows プリンタードライバーのアンインストール

コマンドプロンプトから **Fiery Printer Delete Utility** を使用して、Windows オペレーティングシステムでのコマンドライン機能でプリンターおよび対応するプリンタードライバーを削除できます。

Visual C++再配布可能パッケージの最新バージョンは、**Fiery Printer Delete Utility** が実行されているコンピューターにインストールする必要があります。

- 1 WebTools を使用して、**Fiery Printer Delete Utility** をインストールします。
 - a) インターネットブラウザを起動し、**Fiery server** の DNS 名または IP アドレスを入力します。
 - b) ソフトウェアダウンロードを展開します。
 - c) Windows タブでプリンタードライバーリンクをクリックし、画面の指示に従ってインストールします。
 - d) プリンタードライバーファイルがダウンロードされたローカルフォルダーに移動し、**Fiery Printer Delete Utility** フォルダーをダブルクリックします。
 - e) **setup.exe** をダブルクリックし、画面の指示に従ってユーティリティをインストールします。
- 2 Windows システムでシステム管理者としてコマンドプロンプトを起動し、**Fiery Printer Delete Utility** がインストールされているパスに移動します。
 このユーティリティは¥Program Files¥Fiery¥Applications3¥PrinterDeleteUtility フォルダーにインストールされています。

3 次のコマンドを入力します : **Start /wait Printer Delete Utility.exe** [オプション]

[オプション]には、次のいずれかを指定できます。

- | | |
|------------------------------|---|
| -rmPrints | すべてのプリンターを削除します。 |
| -p "¥"¥Printer1, Printer2¥"¥ | 指定したプリンターを削除します。プリンター名はコンマで区切り、一覧全体を¥"¥¥"¥で囲む必要があります。 |
| -getInstalledPrinters | Fiery Drivers を使用するすべてのプリンターの一覧を取得します。 |

macOS プリンタードライバーのアンインストール

macOS でコマンドライン機能を使用してプリンターおよび対応するプリンタードライバーを削除するときには、ターミナルアプリケーションの **Fiery Software Uninstaller** を使用できます。

アンインストールプロセスの間、実行中のアプリケーションを閉じたり環境設定を保持したりすることについて、**Fiery Software Uninstaller** からユーザーに確認が求められることはありません。

実行中のアプリケーションはユーザーからの確認なしに閉じられ、アンインストールが続行されます。

1 ターミナルアプリケーションを開きます。

2 `sudo FSU -s CurrentUserName Flag` と入力します。

`CurrentUserName` は、`¥$USER¥` または ``whoami`` として指定できます。これは、ユーザー固有の `Library/Preferences` フォルダの場所を取得するために使用されます。

`FSU` は `/Fiery Software Uninstaller.app/Contents/MacOS/Fiery Software Uninstaller` です。

`Flag` には次のいずれかを使用できます。

<code>-rmAll</code>	すべての Fiery アプリケーション、プリンター、およびドライバーを削除します。
<code>-rmApps</code>	すべての Fiery アプリケーションを削除します。
<code>-rmPrints</code>	すべてのプリンターを削除します。
<code>-rmDrivs</code>	すべての Fiery Drivers を削除します。
<code>-a "App1, App2"</code>	指定したアプリケーションを削除します。アプリケーション名はコンマで区切り、一覧全体を引用符 “ ” で囲む必要があります。
<code>-arp "App1, App2"</code>	指定したアプリケーションを削除しますが、環境設定ファイルは保持します。たとえば、「 Fiery Command WorkStation 」用です。
<code>-p "Printer1, Printer2"</code>	指定したプリンターを削除します。プリンター名はコンマで区切り、一覧全体を引用符 “ ” で囲む必要があります。
<code>-d "Driver1, Driver2"</code>	指定したドライバーを削除します。ドライバー名はコンマで区切り、一覧全体を引用符 “ ” で囲む必要があります。
<code>-getAllInstalledProducts</code>	すべてのインストールされた製品の一覧を取得します。
<code>-getInstalledDrivers</code>	すべてのインストールされた Fiery Drivers の一覧を取得します。
<code>-getInstalledPrinters</code>	すべてのインストールされたプリンターの一覧を取得します。

次に示すのは、Fiery Software Uninstaller のコマンドライン機能を使用してプリンタードライバーを削除する例です。

sudo	FSU	-s	"\$USER"	-rmAll
sudo	FSU	-s	"\$USER"	-rmApps
sudo	FSU	-s	"\$USER"	-rmPrints
sudo	FSU	-s	"\$USER"	-rmDrivs
sudo	FSU	-s	"\$USER"	-getAllInstalledProducts
sudo	FSU	-s	"\$USER"	-getInstalledDrivers
sudo	FSU	-s	"\$USER"	-getInstalledPrinters
sudo	FSU	-s	"\$USER"	-a "Command WorkStation 5, HotFolders"
sudo	FSU	-s	"\$USER"	-p "10.210.12.24, 10.210.34.45"
sudo	FSU	-s	"\$USER"	-d "Driver1, Driver2"

カスタムプリンタードライバーの作成における制限

カスタムプリンタードライバーには、いくつかの制限があります。

次のような高度なワークフローはカスタマイズできません。

- 製本メーカー
- ギャングアップレイアウト
- 詳細カラー設定
- 特殊カラー
- ユーザー認証 UI コントロールは無効になり、「ロック」または「隠す」機能のみにになります。

カスタマイズしたプリンタードライバーには、この他にも次のような制限があります。

- 用紙種類の混合、出力用紙サイズ、または用紙カタログの印刷オプションが隠されている場合、製本メーカーまたはギャングアップレイアウトワークフローではカスタマイズされたプリンタードライバーのワークフローが制限されます。製本メーカーとギャングアップを編集することはできません。
- ブックレットおよびギャングアップ設定は、カスタマイズされたプリンタードライバーにおいて、用紙種類の混合、用紙カタログ、および出力用紙サイズのフィールドとともに、対応する設定がロックされた状態で表示されます。
- 原稿サイズ印刷オプションは読み取り専用で、「ロック」または「隠す」機能がありません。
- ウォーターマーク印刷オプションは無効になり、タブをロックまたはタブを隠す機能だけになります。
- FS200/200 Pro およびそれ以前の Fiery システムソフトウェアがインストールされている Fiery server では、カラータブの一般設定とエキスパート設定が使用できなくなるか、グレー表示になります。ただし、カラータブは、カラーモードでタブをロックまたはタブを隠すを使用してロックする、もしくは隠すことができます。
- ウォーターマーク印刷オプションがスタンプタブにある唯一の UI コントロールである場合、ウォーターマークをカスタマイズするにはタブ全体をロックする、もしくは隠す必要があります。

Mac クライアントコンピューター用のカスタムプリンタードライバーの作成に関する制限

macOS プリンタードライバーでは、次の設定をカスタマイズすることはできません。

- 原稿サイズ
- 方向
- 部数

新規作成されたカスタムプリンタードライバーに関する制限

- Mac コンピューター用のカスタマイズされたプリンタードライバーでは、クイックアクセスにカスタマイズボタンがありません。
- Windows または macOS のカスタマイズされたプリンタードライバーで、部数印刷オプションが既定値（例えば 5）に設定されている場合、アプリケーションの印刷ダイアログボックスで部数の値が更新できない場合があります。